

ふるさと母里 小規模多機能型居宅介護
令和元年度 サービス評価

事業所自己評価

外部評価（地域かかわりシート②）

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年11月26日(17:30～19:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	2人	4人	1人	10人

前回の改善計画
・お試しの利用をしていただくことで情報を共有する。 ・小規模多機能とはどういったサービスなのかをご家族に説明していく。 ・利用前の面談に現場の職員も同行するようにする
前回の改善計画に対する取組み結果
以前より新規ご利用者の情報をメンバーで共有出来るようになり、混乱などが減った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	6			10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7	1		10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	7	1		11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		7	3		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ご利用前の事前の面談にメンバーが立ち会う機会も可能な限り設けており、情報の周知などが早めに行われるようになってきている。また、現状の困りごとなども周知することで、直近の支援内容も明確になっており、ニーズに応じたサービスが提供できていると思われる。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	直近の困りごとは、現状の状況において把握できている部分であり、ご利用者の本当のニーズまでは把握できていない。また、急なご利用や他施設からの移行などもあり、当日までご本人と会えないケースもある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	初期の情報収集で調べられていない点、不明に思った点をメンバーで出し合い、ケアマネに伝え、これまで以上に事前情報の量を増やしていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 26 日 (17:30 ~ 19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	2 人	2 人	10 人

前回の改善計画

- ・ご利用者から聞き取りできた意向を、支援に生かせるように情報を共有する。
- ・プランを早期に作成、出来たものを現場スタッフとケアマネで読み合わせをし、共通の認識を持つ。

前回の改善計画に対する取組み結果

ご利用者への必要な支援がメンバーで共有できるようになり、皆で目標を意識しながら支援展開が出来るようになってきた。職員間の連携も良くなってきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	6	2	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	6	2	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	4	3	1	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	1	1	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ミーティングで目的や支援内容を共有して一日をスタートさせるようになっている。また、日々の関わりから得た情報や気づきを口頭でメンバーと共有するようにしている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ケアプランの長期目標など把握不足の所がある。また、本人と家族の意向が違い、本人の希望に沿う形だけでは展開できないこともある。
ご利用者との信頼関係が出来るまでは、本人の意向がなかなか把握はできない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

日々の支援で得たご利用者の要望やニーズを口頭だけでなく、掲示板に付箋で残し、皆で共有、可能な日に実践できるよう繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 26 日 (17:30 ~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	3 人	2 人	10 人

前回の改善計画

- ・アセスメントや情報収集をケアマネが多く取るように努力する。
- ・支援に必要な情報は十分である。以前の暮らしなどの情報は必要に応じての聞き取りを行う
- ・普段の様子をしっかりと把握して体調の変化に早期に気づく。
- ・アセスメントの中に以前の暮らしの情報をなるべく入れていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

最近の情報はある程度収集できているが、以前の様子などは依然としてあまり把握できていない。家族も分らない場合などがある。特に結果としては無し。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?			6	3	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	3		1	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	6	1	1	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	5			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	8	1		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

急な宿泊や通いに対応できるよう調整したり、事業所側から体調などを見ながら提案する場合もある。臨機応変に対応できていると思われる

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

以前の暮らしとなると、認知症によりご本人から直接聞けないこともある。また、家族も把握できていないこともあるので 10 個というと分らない方もおられる。

また、自宅で一人で過ごしておられる方は、その時間をどう過ごしておられるのかは、予測であって、ビデオカメラを仕掛けるなどしないと、把握は現実気に難しい。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

今後も可能な範囲で本人や家族から以前の情報を収集し、アセスメントシートを埋めていく努力をする

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 26 日 (17:30 ~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	6 人	4 人	10 人

前回の改善計画	・独居又はご夫婦のみで暮らしておられるご利用者の地区の民生委員を把握し、連携が図れるよう挨拶に出向く。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者の担当区域の民生委員さんに挨拶などに行くことはできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		1	6	2	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	2	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?			9		9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			5	4	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ふるさと母里をご利用になられても、地域との繋がりが切れないように、地域行事などにはご利用者と積極的に出向くことを重要視しており、地域の情報を得ては出かけている。懐かしい顔に会えたり、昔話を聞くも出来て、良い刺激になっていると感じる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源の活用や、近隣の方との交流、民生委員さんとの関わりなどは、なかなか時間の確保やこちらからの働きかけ不足で出来ていない。通いの方の対応や、訪問サービスなどに時間を要し、時間の確保も難しい。また、家族などが居ないと、事業所からいきなりアポイントを取ることも遠慮してしまう。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
近隣の方や民生委員さんの訪問などは事業所におられない時間のご利用者の様子を把握するには重要で、前回の計画では出来ていなかったが、今年度はもう一度アプローチして、実際にどのメンバーが動くのかも含め計画的に動く	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 26 日 (17:30 ~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3 人	4 人	1 人	8 人

前回の改善計画

- ・今後も地域支援を活用しながら支援に繋げていく。
- ・家族の思いが共有出来るようモニタリング時は出来るだけ現場スタッフとケアマネが二人で行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

モニタリングは可能な範囲でケアマネとメンバーが同行している。それにより家族の思いが現場にも浸透しやすくなり、ケアマネを通さなくても連絡調整など回りやすくなり、対応が迅速に行えるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4	3	2	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	6		1	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	6			9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	8			9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

以前はあまり行えていなかった朝と昼のミーティングを丁寧に行うようになり、情報の共有、必要に応じた迅速な対応が行えている。これまでより、チームメンバーが趣旨を理解した対応が出来るようになってきている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

こちらが把握できている地域のイベントなどしか資源の活用が出来ていない。近隣の方の力など、まだまだ、資源はあると思われるが、その調査や関わりは出来ていない状況。やはり面識がない方へのアプローチは迷惑では?との思いもあり、事業所職員だけで動くことには遠慮しています

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

前項目の計画と合わせて民生委員さんとのコンタクトを取り、同時に地域資源の情報収集も行っていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 27 日 (17:30 ~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	3 人	1 人	8 人

前回の改善計画
・外部への働きかけを今まで通り継続して実施 ・地域の行事の手伝いにも協力できるよう取りくむ
前回の改善計画に対する取組み結果
以前はふるさと母里から依頼することのほうが多かったが、交流の継続により、の近所の地域の方や学校などにも声をかけて頂けるようになったことで、相互に連絡を取り合えるようになってきた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		1	5	3	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	2	5	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	4		4	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		7	3		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域のイベントには参加しているが、最近では学校からの福祉体験や、近隣の方の企画などにも参加させて頂けるようになった。小学生などは福祉学習の後には、放課後に遊びに来てくれることもあった。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域ケア会議には参加しているが、管理者やケアマネが参加しており、現場のメンバーは参加することはあまりない。また、その回の情報を周知していないので、あまり関係を持っていること自体知らないことが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
会に参加した際には、話し合いの内容なども周知していくこととする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 27 日 (17:30 ~18:30)

7. 運営

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	3 人	1 人	1 人	9 人

前回の改善計画	・引き続き、皆で話し合う機会を大切にしたい運営を行っていく
前回の改善計画に対する取組み結果	話し合う機会が増えたことにより、情報の共有がなされるようになり、働きやすくなった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		6	2	2	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6		1	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6		1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	4	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者の個別具体的な支援内容を話すだけに留まらず、小規模多機能の運営の方向性や、支援の在り方などを話す機会がきちんと持たれたことで、皆で同じ方向を向くことが出来ている。リーダーが丁寧にその辺りの話をしてくれる。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること これまで所属する自治会とイベント (母里フェス) を行ってきたが、今年は人員不足から取止めたこともあり、協働という意味では出来ていない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域の方に母里フェス以外にも協働について、話をしていく。また、福祉体験学習をより効果的な時間となるよう、先生方と協議をしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 26 日 (17:30 ~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	2 人	2 人	人	8 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・内部、外部研修や勉強会などに積極的に参加していく・参加された人は不参加者にも周知する。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会や内部研修を同様の内容で複数回行う事で、参加しやすくなった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	5	3		10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	3	2	10
③	地域連絡会に参加していますか					事例なし
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5	1	2	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・信頼と安全の確保のために、事故報告書などが出ると、皆で検証し、再発防止に努めるようになった。その機会が増えたことで、メンバー個々の意識付けにも繋がっている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 意識は高まってきている反面、事故の検証内容が不十分であることもあり、似たような事故が再発していることもある。 新たな資格取得の研修などはあまり参加していない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ヒヤリハットなど、軽微な事故で住んでいる事例や、まだそこまでも至っていない場面を書面で取り上げるよう皆で意識し、大きな事故に繋がらないよう早期の時点で対応していく
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 27 日 (17:30 ~18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	3 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画
・今後に向けて LINE の使用方法を検討していく ・ミーティングやチーム会議で、職員同士で言葉使いを振り返る機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
ラインの使用方法を見直し、そのルールに則って使用できるようになっている 言葉使いについては気を付けるようになってきている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	2			10
②	虐待は行われていない	7	2			9
③	プライバシーが守られている	3	7			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している					事例なし
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	6			9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ふるさと母里のラインアカウントを設けて、個人携帯の使用が無くなった。それにより個人情報の流出の危険性も減り、ご利用者のプライバシーも守られている。 身体拘束や虐待は行われてはいない。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	特になし

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	チーム会では今後も接遇について取り上げ、個別具体的な事例をもとに不適切ケアを減らしていくと共に、接遇アンケートの出来ていない項目を 0 にしていく

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	5		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5	1	

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【前回の改善計画に対して意見】

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

6の連携強化や協働の周知など具体的にどうやって周知していくのか等、もっと掘り下げた具体的な方法まで考えていくと、より改善されやすいと思います。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・以前の評価でコミュニケーションが大切だという話をしたと思うが、ここ数年、良くなってきていると感じています。
- ・書面を出して「見ておいて」では読まれない事もあり、もっと簡便であったり、分かりやすい共有の方法も探さないといけないかもしれないですね。

【改善計画】※後日記入

自己評価の用紙を身近に置いておき、毎月のチーム会、皆で改善計画の進捗を確認しながら実施していく。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

山側の窓の鍵は掛かっている。

【前回の改善計画】

事務所の窓に不在時の案内が掲示されたり、インターフォンの前に貼り紙が出来て、来所した際に困らなくなった。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

洗濯物を干す場所に困っているようだが、物干し場を作ってはどうか

【今回の改善計画】※後日記入

整理整頓を心掛け、皆で気持ちよく、時間や物品などの不必要なコストを削減していく

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	職員はあいさつできていますか？	6		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

3について、実際に相談があったりするのかわかっていますか？

→包括支援センターなどから問い合わせがあるケースはあるが、地域の方が直接相談に来られることは、あまり無い。

【前回の改善計画】

地域の皆さんもお仕事をしながらの生活なので、交流する機会もなかなか持てないかもしれないですね。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

それぞれの事業所によって行っている業務があるので、母里は母里の果たす役割をきちんとされれば良いと思う。

地域との交流や関りを積極的にしておられるので、今後もそれを続けていってほしい。

【改善計画】※後日記入

地域の方が気軽に足を運べるようなイベントなどを企画、試行してみる

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4		2
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？		1	5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

いつも自治会のイベントなどに来てもらってありがたい。これからもどんどん来てください。

【前回の改善計画】

民生委員さんや地域の住民の方との関りはあまり出来ていないかもしれませんね。なかなか皆さん、仕事もしているし、特段の用が無ければ、時間を作るのも難しいですよ。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

小学校の校長先生やボランティアなどしている方にも協力してもらい、交流をする機会を作っていってはどうか。

【改善計画】※後日記入

独居生活を送り、家族の協力なども得にくい方に対して、民生委員の方などの協力を得ていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5		1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

運営推進会議で出た意見にも早々に対応され、皆での意見交換も出来ていると思う

【前回の改善計画】

きちんと出来ていると思います

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・報告内容は、あまり細かいミスや事故報告までは話されなくても良いのでは？ある程度大きなトピックスだけでも良いのではないか。
- ・現場のスタッフさんや、ご家族さんにもたまには参加してもらって、実際の現場の話を聞いてみたい。

【改善計画】※後日記入

次年度は運営推進会議に現場の職員やご家族にも参加してもらう機会を作る

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		3
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	5		1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	1	4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		5	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・防災訓練に民生委員も参加させてもらえると良い。
- ・地域の防災訓練等が無いので、あまり参加も出来ないですね。

【前回の改善計画】

聞いているかもしれないが、記憶がなく、自分は忘れているかもしれない。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

毎年訓練もされており、設備もあるので、地域の方々の避難所にしてもらえたら、皆さんも安心されると思う

【改善計画】※後日記入

自治会の会の時に住民の皆様に変更して、困ったときには避難先として活用してもらってよいことを案内する

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人伯医会	代表者	柴田憲司	法人・事業所の特徴	周りを田んぼや川に囲まれた自然豊かな場所に所在し、畑仕事や近隣の行事などへの参加を支援として提供しています。また、併設でグループホームも運営しており、在宅生活の限界が来た際には慣れた場所と職員がいる場所に住まいを移す事も可能となっています。
事業所名	ふるさと母里	管理者	永田和也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	0人	0人	1人	0人	3人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員で行った自己評価の改善計画9項目を行う	ミーティングがなされるようになり、職員間の連携や情報共有は以前に比べ良くなってきている。地域の方との連携はなかなか出来ていない	改善計画が、まだ曖昧で具体的になっていない部分があるので、それらを掘り下げていくと、より達成に近づくとと思います。	自己評価の用紙を身近に置いておき、毎月のチーム会、皆で改善計画の進捗を確認しながら実施していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き、玄関回りの清掃を行うとともに、来客があった際に事務所が不在な場合はインターホンで呼び出せるような案内板を設置する	インターフォンの横に「御用の方は・・・」という案内板を設置した。 玄関の事務所の前にも不在時にはインターフォンを押して頂くような案内を出すようにした。	・案内板が出来た事で、来所した際の行動が分かりやすくなり、行きやすくなった。 ・洗濯物を干すようなスペースが無いようなので、作ってはどうか。	整理整頓を心掛け、皆で気持ちよく、時間や物品などの不必要なコストを削減していく
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事等に参加して喜んで頂けている声を伺うので、引き続き、行事やイベントなどに積極的に参加していき、地域の方とのコミュニケーションを図っていく	地域の行事には参加しており、主催者の方から声を掛けて頂く機会も増えてきている。	地域の方から直接相談があったりするのかわか？ →直接の相談はあまり無いのが現状	地域の方が気軽に足を運べるようなイベントなどを企画、試行してみる
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご利用者がお住いの地域の方、民生委員、伯太圏域の自治会の方と交流や関係構築を行っていく。	民生委員さんや自治会の方と関係構築は出来ていなかった	地域の皆さんもお仕事をしながらの生活なので、交流する機会もなかなか持てないかもしれませんね。	独居生活を送り、家族の協力なども得にくい方に対して、民生委員の方などの協力を得ていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を定期的に行い、委員の方と様々な意見交換を行いながら、情報の共有に努めていく	運営推進会議は定期的を開催出来、委員の方からも良いご意見を頂く事が出来た。	現場のスタッフさんや、ご家族さんにもたまには参加してもらって、実際の現場の話を聞いてみたい	次年度は運営推進会議に現場の職員やご家族にも参加してもらう機会を作る
F. 事業所の防災災害対策	近隣の防災委員の方や民生委員さんに防災計画の周知と実施内容の報告を行う。また、事業所を避難所として活用してもらってよいことを自治会に案内する	運営推進委員の方には計画や避難について相談や報告をしたが、その他の方々には報告できておらず、近隣の方も避難する際の選択肢として把握されていない	聞いていたかもしれないが、自分は覚えていない。しかし、避難先として活用できるのは住民としては心強いです。	自治会の会で改めて、有事の際にや困ったときには避難先として活用してもらってよいことを案内する